

AT車時代にMT車レンタル

探訪 新生活スタイル

毎年発表される新車販売ランキングでは、上位10社を「プリウス」や「N-BOX」といったエコカーや軽自動車の独占が続いている。スピードや加速を訴えるテレビCMは無くなり、クルマとライフスタイルの価値観の大きな変化が起きている。若者がクルマに乗らない理由として、レンタカーやカーシェアリングの普及により、保有せずに使いたいときだけ借りるという指摘もある。

「さほど所得の伸びがなく、昨今のエコカー全盛時代では、自分のライフスタイルや嗜好に合う趣

味性の高いクルマに乗ることは、誰もが遠のいていくと思うだろう。「車好きは、クルマ遊びをおきらめない」を経営理念に、誰もが無理なく健全に参加できるクルマ遊びの場を提供するのは、神奈川・箱根の仙石2 Drive」。ここには「初代フェアレディゼット」や「スカイラインGT-Rハコスカ仕様」「トヨタスープラ」など往年の名車や、ボルシェやフェラーリといったスポーツタイプの個性的な車種がラインアップされている。

レンタル料金は車種によっても異なるが、通常のレンタカーの2倍以上



通常のレンタカーの2倍以上の料金設定にもかかわらず多くの人が押し寄せる

青春プレイバック消費盛況

ライフスタイル

あるクルマを求めて、お客が次から次に押し寄せ、自動変速機(AT)訪れる。つまり、全ての客が普及した現在、極めて人が体験のために訪れて

あるクルマを求めて、お客が次から次に押し寄せ、自動変速機(AT)訪れる。つまり、全ての客が普及した現在、極めて人が体験のために訪れて

て少数になった手動変速機(MT)車が主軸であり、スポーツカータイプには6速仕様もある。風を受けてアクセルをふかし、クラッチを使いながらギアチェンジでコーナーリングを楽しむ。通常、レンタカーを利用するのはクルマを保有していない人や、旅行先や出張先でレンタルするのがほとんどだが、Fun2Driveがある仙石原は公共交通で訪れるには不便な場所であり、利用者は自家用車で

利用者は青春時代に運転した経験がある、もしくはあこがれていたクルマを、1970年代後半の爆発的なスーパーカーブームを小中学生で体験したその下の世代が多い。体験価値を対価で購入する「青春プレイバック消費」といえよう。

河口湖の湖畔で見つけたのがレンタカー店「DLIVE(ドライブ)」。車種はMINIのコンパクトタイプのみで、色とりどりのインスタ映えの抜群の可愛いMINI Iを揃えている。料金は11時間で1万8千円。箱根、富士五湖周辺にはクルマ遊びに適したドライブコースもあり、近年ではインバウンド(訪日外国人)の増加も加わり、盛況な様子が見え始める。保有から利用へのシフトが続く、国内新車市場はピーク時の3分の2の規模まで縮小しているが、レンタカーの市場規模は1兆円に迫る勢いで拡大している。レンタカー大手6社がシェアの9割以上を占めているが、生活者の欲求を具現化するライフスタイル提案をすることで、ニッチなマーケットを獲得できる。ライフスタイルを充足する体験価値の創造は、成熟社会での新たな消費を引き起こす。

(高い創造研究所代表 松本大地)